

件名 : JACLaP WIRE No.45 (2002年3月29日発行)
送信日時 : 2002年 3月 29日 金曜日 5:06 PM
差出人 : UMIN <tmitsuda-ykh@umin.ac.jp>
宛先 : <jaclap_wire@umin.ac.jp>

JACLaP WIRE No.45 (2002年3月29日発行)

本メールは日本臨床検査医会の電子メール新聞JACLaP WIRE No.45です。

=====
目次
=====

- [お知らせ-1] 会員動向: 会員数617名, 専門医423名(2002年3月29日現在)
- [お知らせ-2] 第49回日本臨床検査医学会総会の演題最終締切について
- [お知らせ-3] 第7回アジア臨床病理学会議について
- [お知らせ-4] 第47回日本臨床検査医会教育セミナーを開催。無事終了。
- [WHOトピックス1.(Press March 2002 WHO-158)]
アジア各国の政府に対し専門家がガソリン中の鉛を除去することを提言
- [WHOトピックス2.(Press March 2002 WHO-159)]
環境危険因子により5歳以下の子供が300万人毎年殺傷
- [株式会社じほう提供検査関連ニュース]
【The Medical & Test Journal, 2002年3月11日号より】
診療報酬の下落する領域は疲弊する 木村佑介中医協委員
不採算試薬の販売撤退を懸念 臨薬協
収支管理ソフトで機器リースとFMSを比較 メリトクラシー研究会
5割の検査部が業者選択に関与 北海道臨技が調査
- 【The Medical & Test Journal, 2002年3月21日号より】
C型肝炎ウイルスキャリアを早期発見 厚労省
診療報酬引き下げ検査室を直撃 静岡市立静岡病院
- 【The Medical & Test Journal 4月1日号から】
検査データの共有化を優先課題に 日臨技総会
日本神経生理検査研究会が発足
診療報酬改定、病院機能評価にISO9001も含む

=====
JACLaP WIRE
=====

[お知らせ] 会員動向
(2002年3月29日現在数617名, 専門医423名)
《入会》 2名
小柳津 直樹 東京大学医科学研究所附属病院検査部
小杉 一博 弘前大学医学部附属病院検査部

=====
JACLaP WIRE
=====

[お知らせ-2]
第49回日本臨床検査医学会総会の演題最終締切について
第49回日本臨床検査医学会総会は、清水 章総会長のもとで平成14年11月21日(木)~24日(日)に大阪市北区中之島グランキューブ大阪(大阪国際会議場)で開催されます。演題はオンライン申込みを主とします。最終締切日は平成14年7月15日ですので、奮って申込みください。

=====
JACLaP WIRE
=====

[お知らせ-3]
第7回アジア臨床病理学会議について
第7回アジア臨床病理学会議(7th Asian Congress of Clinical Pathology)が12月6日に8台湾の高雄で開催されます。学会事務所に案内状が届いていますので、必要な方はご連絡下さい。抄録の締切りは5月31日です。

[お知らせ-4]

第47回日本臨床検査医会教育セミナーを開催。無事終了。

(平成14年3月24日(日)、大阪医大学生実習棟)

大阪医科大学病態検査学教室の担当で、平成14年3月24日検査医会教育セミナーが開催された。(責任者：大阪医科大学病態検査学 清水 章)参加者は16名で輸血検査の実技、骨髄像・血液像検査実技、免疫電気泳動像判定の実技などの講習が行われた。また、ランチョンセミナーとして和歌山県立医科大学2病理・教授の覚道健一先生に「病理診断の信頼度と限界」というテーマで講演された。受講者16名、内病理医6名であった。全員熱心に受講した。

[WHOトピックス-1. (Press March 2002 WHO-158)]

アジア各国の政府に対し専門家がガソリン中の鉛を除去することを提言
タイのバンコクで行われた専門家会議は、環境面、および健康面の配慮からガソリンから鉛を早急に除去することをアジア各国の政府に対し求めた。欧米ではガソリンから鉛を除去したことにより、子供の血中鉛濃度が90%減少し、鉛中毒を30~40%も減少させた。タイでも無鉛ガソリンを用いることにより、バンコクの子供の血中鉛濃度が減少させている。アジアには世界人口の半分以上が住んでいるが、そのうち18歳未満が40%を占めている。子供の健康、知能、地域経済活動に対して、鉛が大きな障害を与えている。工場から排出される未処理廃棄物は埋立地や排水溝に流されるため、スラムに住んでいる子供や川・運河で水浴びをする子供の健康を損ねている。農薬散布や殺虫剤が農業で使用されているため、DDTのような毒性化学物質が食物に混入する危険性も増している。室内での間接喫煙や家庭内で燃料を燃やすことによる空気汚染も問題となっている。飲料水に塩素が高濃度に混入している場所では、歯や骨が損傷され、中国では何百万人という人が被害を受けている。バングラディッシュでは砒素が含まれている地方の井戸水により子供が皮膚病にかかっている。
(獨協医科大学越谷病院臨床検査部 森 三樹雄)

[WHOトピックス-2. (Press March 2002 WHO-159)]

環境危険因子により5歳以下の子供が300万人毎年殺傷
WHOは不衛生で飲料に適さない水、室内空気汚染、事故、外傷、中毒などの原因により、毎年、5歳以下の子供300万人が殺傷されていることを指摘した。発展途上国では2000年度に、5歳以下の子供130万人が不衛生で飲料水に適さない水を飲み、下痢性疾患で死亡している。地球サミット後の5年間で5歳以下の子供が毎年220万死亡しており、その60%が室内空気汚染、冷暖房の欠如、不衛生な生活環境などにより急性呼吸器感染症で死亡している。偶発的な事故、例えば交通事故、水死、火傷、中毒死などで5歳以下の子供が毎年40万人死亡している。この他、鉛、水銀、殺虫剤、有機汚染物質、化学薬品なども環境危険因子に含まれる。間接喫煙、X線照射、気候の急変、食物の品質・安全についても問題が提起された。
(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

[株式会社じほう提供検査関連ニュース]

(株式会社じほうホームページアドレス：<http://www.jiho.co.jp/>)

【The Medical & Test Journal, 2002年3月11日号より】

診療報酬の下落する領域は疲弊する 木村佑介中医協委員
日本医療法人協会のセミナーがこのほど、都内で開かれ、木村佑介氏(東京都医師会理事・中医協委員)は次回診療報酬改定について、「初めてのマイナス改定だが、改定の理念が見えない内容になってしまった」とし、患者の受診抑制の方向だけが浮かびあがった内容に苦渋をにじませた。中でも検査点数の引き下げについて「診療報酬が下がる業界は疲弊していく。このまま続けば検査技師になるうという人材がいなくなる」と危機感を表明した。検査判断料、管理加算関連は引き上げられているが、実施料本体のたび重なる大幅な引き下

げが検査業界全体に及ぼす影響を懸念した。

不採算試薬の販売撤退を懸念 臨薬協
日本臨床検査薬協会は、4月の診療報酬改定について、検査薬業界は、今回の引き下げ幅は12~14%にもものぼっており、予想以上の大きなダメージとなっていることを懸念。今回の改定により、メーカーへの影響はかなり大きいと予測。逆ザヤ項目もふえているものともみられ、赤字をだしてまでもメーカーは売ることがせず、項目によっては販売されないことも考えられるという。今回の改定は、引き下げ幅が大きいだけに、不採算の項目は販売しないなど、流通に支障がでることも懸念、危機意識を強めている。

収支管理ソフトで機器リースとFMSを比較 メリトクラシー研究会
臨床検査メリトクラシー研究会（会長＝泉川健美氏・内田病院臨床検査科技師長）は、3月3日に開かれた13回研究会で、同研究会が昨年開発した収支管理ソフトをもとに、実際に、機器リースとFMSの収支の比較検討を行った。約400床の医療機関をもとに平成12年度改定の診療報酬点数表で支出額を算出した結果、現在の機器リースからFMSに変更した場合、12.7%の支出増となることを明らかにした。

5割の検査部が業者選択に関与 北海道臨技が調査
外部委託の業者選択に検査部がなんらかの形で関与している病院は全体の53%、約半数であることが北海道臨床衛生検査技師会の会員施設調査結果から明らかになった。病床規模によっては7割強の検査部が業者選択に関与しているが、病院経営にとって業者選択は差益確保のツールになっていることから、4月の診療報酬改定以降の契約更新などにおける価格交渉は一層厳しさをまず見通しにある。検査差益の是正と病院経営も、検査部が業者選択にかかわる場合でもどういう立場で関与していくのか、ジレンマは続きそうだ。

【The Medical & Test Journal, 2002年3月21日号より】

C型肝炎ウイルスキャリアを早期発見 厚生省
厚生労働省はこのほど、200万人ともいわれるC型肝炎ウイルスキャリアを早期に発見して適切な治療を提供、将来的に肝臓がん死の減少につなげるために行う肝炎ウイルス健診などの実施要領案を公表した。同省は事業予算として約31億円を計上しており、今国会で予算が成立後、早い時期に老人保健事業に肝炎ウイルス健診を追加する旨の告示を出す。4月1日施行。健診にかかる基準単価の算定も早々に終える意向だ。

診療報酬引き下げ検査室を直撃 静岡市立静岡病院
静岡市立静岡病院（600床）臨床検査技術科は、レセプト上の検体検査・生体検査における4月の診療報酬改定に対する影響度が約3%のマイナスになるとの試算結果を明らかにした。これには包括項目である手術前医学管理料などの指導管理料や外来診療料など、検査が包括されている項目は含まれていない。通知がでてから、関連項目の算定要件を検証しながら精査していく計画だ。現時点での試算では、検査科の取り分とされる実施料ベースでみると6.3%のマイナス、そこに判断料、検体検査管理加算1などの引き上げ分が加わり約3%の減とみている。

【The Medical & Test Journal 4月1日号から】

検査データの共有化を優先課題に 日臨技総会
日本臨床衛生検査技師会の平成13年度第2回定期総会が3月23日、都内で開かれ、医療連携の時代に対応するため検査データの共有化に関する検討事業を推進させることなどを決めた。医療のIT戦略は、すでに厚生労働省が保健医療グランドデザインを公表し、具体的な検討に入っている。岩田進会長は「電子カルテ化、レセプトの電算化にむけグランドデザインが明示されているなかで、検査データの共有化を避けて通ることはできない」とし、精力的に検討を進めていく考えを表明した。

日本神経生理検査研究会が発足
日本神経生理検査研究会が4月1日、正式に発足する。すでに平成8年より学術講演会の開催、メーリングリストなどを通して神経生理検査を行っている臨床検査技師の意見交換の場を提供してきたが、今回、会則を設け、研究会として正式に活動を開始することとなっ

た。会長は、高橋修氏（市川市リハビリテーション病院臨床検査科技師長）。

診療報酬改定、病院機能評価にISO9001も含む
厚生労働省保険局医療課は3月27日までに、4月の診療報酬改定で初めて施設基準に盛り込まれた第三者による病院機能評価認定の対象として、日本医療機能評価機構だけでなく「ISO9001」の認証も対象にするとの見解を明らかにした。この行政判断は、第三者評価を施設基準としている「緩和ケア診療加算」「緩和ケア病棟入院料」「外来化学療法加算」の3つともに対応される。

=====

JACLaP WIRE, No.45 (2002年3月29日発行)
発行：日本臨床検査医会 [情報・出版委員会]
編集：JACLaP WIRE編集室 編集主幹：満田年宏
記事・購読（配信）・広告等に関するお問い合わせ先：
〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内
e-mail：jaclap_wire@yahoo.co.jp
TEL:045-787-2721 FAX:045-786-0392
日本臨床検査医会ホームページ：<http://www.jaclap.org/>
JACLaP WIRE バックナンバー：<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！
